



飯田市 歴研ニュース

News Letter

No. 142

The Iida City Institute
of Historical Research

2026年6月1日発行

飯田市歴史研究所

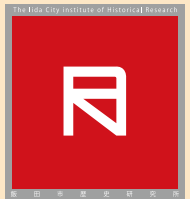
〒395-0803

長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670

FAX 0265-21-1173

E-mail: iihhr@city.iida.nagano.jp



聞き取り入門講座 戦後の飯田写真展 を開催しました

飯田市歴史研究所では設立以来、聞き書き（オーラルヒストリー）に力を入れてきました。満州移民を考える会や歴史研究所の近現代史ゼミなどとも連携して、地域の歴史や暮らしの記憶を記録しています。この度、地域で聞き取りの担い手（聞き手）を育成するため、飯田市歴史研究所としては初の試みとなる、聞き取り入門講座を昨年度2月～3月に開催しました。講座は、聞き取りの基礎を学ぶ講座編と、実践編「戦後の飯田写真展」に分けて実施し、多くの方にご参加いただきました。

講座編 ————— 2月21日(土)：飯田市美術博物館 講堂

聞き取りに関心がある方を対象に、実際に初めて取り組んでみるための具体的な方法を学べる聞き取り入門講座を開催しました。講師の安岡健一さん（大阪大学／歴史研究所顧問研究員）からは、問いの立て方や内容、聞き取り時のポイント、資料として保存するための説明書や同意書など、聞き取りによって地域の歴史を残していく際に意識しておくべきことについてお話しがありました。当日は、既に様々な形で聞き取り活動を行っている方も参加され、質疑応答では資料の保存のことなど活発な意見交換ができました。



実践編「戦後の飯田写真展」 ————— 3月6日(金)～8日(日)：ほっ湯アップル(飯田市松尾)



聞き取り入門講座の実践編として、写真展と組み合わせた聞き取りイベントを開催しました。来場者に写真から想起される当時の思い出を聞き取る試みです。歴史研究所の所蔵史料のほか、雑誌『家の光』の史料も利用し、昭和30年代から50年代頃の農村や飯田の風景を写した写真を展示しました。戦後の農村風景というテーマで内容は多岐にわたりましたが、いずれの展示も様々な反応をいただき、来場者が写真を見て思い出を語り合う賑やかな会場となりました。3日間で延べ198人と、多くの方にご来場いただきました。

会場の一角には2箇所の聞き取りブースを設け、講座受講者のうちの希望者と歴史研究所の研究員、ボランティアで参加した大阪大学学生が聞き手となり、3日間で16人の方に聞き取りを行いました。三六災害の記憶や家の仕事の思い出（稲作、林業、エノキ栽培など）、幼少期に見たまちなみの様子など、短時間でしたが貴重なお話を数多く記録できました。

戦後の地域の歴史も、記憶から失われつつあります。写真や聞き取りという形で記録を残し、保存していく試みを今後も続けていきたいと思っております。



水引作り 箕瀬町(昭和52年頃)



松尾小学校(昭和34年頃)

令和 8 年度 飯田市歴史研究所 研究計画

歴史研究所の調査研究活動は、複数の研究員が研究組織を構成して諸課題に取り組む基礎共同研究と、各研究員が個々の課題に取り組む基礎研究によって進められています。令和 8 年度は、以下の体制で調査研究を行います。

1. 基礎共同研究（名前は代表者）

基盤調査：日常的・永続的な調査・研究事業		単位地域研究： 市域の自治区域（旧町村）を対象に取り組む総合的な調査・研究	
史料所在状況踏査	羽田 真也	飯田・上飯田	多和田 雅保
史料現状記録調査	羽田 真也	座光寺	羽田 真也
オーラルヒストリー調査	伊藤 悠	川路	羽田 真也
歴史的建造物調査	岩田 会津	三穂	前澤 健
歴史公文書調査	伊藤 悠	松尾	伊藤 悠
		南信濃	岩田 会津
課題研究：数年間をかけて特定のテーマに取り組む研究			
山里の分節的把握－阿智村清内路を素材として			坂本 広徳
地方小都市の近代化過程における学校を中核とした文化的ネットワーク構築			多和田 真理子
「天竜川流通圏」における山里社会の存立構造と地域類型把握に関する基盤的研究			吉田 ゆり子

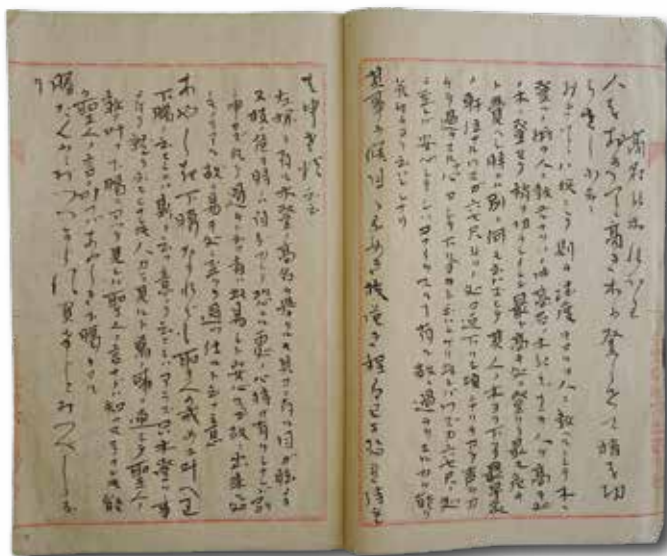
2. 基礎研究

所長	伊坪 達郎	近世末期から近代にかけての旗本近藤氏の変化調査
顧問研究員	加藤 陽子	森本州平日記を読む
	田島 公	国指定史跡・恒川官衙遺跡の保存・活用を促進するための地方官衙（「評衙」・「郡衙」）と古代地方寺院（「評寺」・「郡寺」、「定額寺」）の研究
	多和田 雅保	近世・近代の飯田町を中心とするネットワークの研究
	多和田 真理子	小学校の設置運営と地域の関わり一日誌類の分析を中心に－
	安岡 健一	「農村メディア」を通じたパブリック・ヒストリー実践
	吉田 ゆり子	山里に生きた人々の意識－身分と職分に注目して－
研究員	伊藤 悠	近現代の飯田下伊那における地域経済と資源
	岩田 会津	明治期の地図・地籍史料に基づく地域景観の復元
	羽田 真也	近世の大平街道をめぐる社会構造
特任研究員	竹村 雄次	明治大正昭和期の下伊那文化の特色（観劇文化を中心に）
	前澤 健	・樽木役の負担に関わる諸問題 4 ・明治初年の天竜川通船 2
調査研究員	太田 仙一	飯田・下伊那の経済・経営史的研究
	竹ノ内 雅人	飯田下伊那地域の寺社と地域社会に関する基礎的研究
	田中 雅孝	養蚕地帯における社会構造と主体
	千葉 拓真	近世の飯田・下伊那における領主間ネットワークと地域社会の総合的研究
	原 英章	飯田・下伊那の戦争に関わる遺跡と日記の調査（平岡ダム、個人の日記）
	福村 任生	伊那街道における歴史的景観の持続再生に向けた総合的研究
	本島 和人	・満洲移民送出及び引揚げに至る下伊那の社会と経済 ・満洲移民参加者の書簡の翻刻と解説
市民研究員	粟谷 真寿美	青年会、青年運動の研究
	坂本 広徳	近世清内路の社会構造
	壬生 雅穂	ミチューリン会で菊池幸子が作り出した「場」

研究紹介

前澤 健（歴史研究所特任研究員）

明治20年代 長野県尋常師範学校での学び — 宮澤鐘太郎と浅井洌 —



「和文軌範 第一綴」 高名の木登り

飯田市江戸町の旧飯田藩士宮澤家に伝来した史料群（宮澤正勝資料）の整理を進める中で、明治年間における学習記録が数多く残されていることが明らかとなった。とりわけ注目されるのが、宮澤鐘太郎しょうたろうの残した記録である。鐘太郎は草創期の下伊那中学で学んだ後、長野県師範学校に進学し、卒業後は主に下伊那の学校で訓導や校長を務め、教育に尽力した人物である。

鐘太郎は師範学校在学中の講義内容を詳細に書き留めた講義録（ノート）を多数残しており、これらは明治19（1886）年の師範学校令改正直後における長野県尋常師範学校の教育内容を具体的に知ることができる貴重な史料である。なかでも重要なのは、

県歌「信濃の国」の作詞者として知られる浅井洌きよしの講義記録が含まれている点である。鐘太郎が残した浅井の講義録は「和文軌範 第一綴」「和文軌範 二」「国語 第壱」の三点である。

浅井は、「国語」の講義において古典を題材として『徒然草』の「高名の木登り」を取り上げている。そこでは「おきて」の意味や、そこに込められた教訓について、江戸時代以来の研究成果を踏まえて解説していることが読み取れる。

松本藩士の家に生まれた浅井洌は、明治19年9月に長野県尋常師範学校に教員として赴任し、以後40年に渡り長野県の教員養成に力を尽くした。浅井の書や教育論は『浅井洌』（松本市教育会編）にまとめられているが、彼の師範学校での教育の内容を具体的に示す史料はこれまでほとんど知られていなかった。この点において、鐘太郎の学習記録は浅井の教育の実像をすることができる点で極めて重要である。



「長野縣師範学校高等科第八級生」（明治19年4月1日）

ここで紹介した宮澤鐘太郎の学習記録の一部は、飯田市美術博物館のトピック展示「『信濃の国』作詞者 浅井洌と飯田下伊那」（6月9日～8月23日）において展示されていますので、ぜひご覧ください。

第23回 飯田市地域史研究集会 開催のお知らせ

●開催日 令和8年9月12日(土)・13日(日)

●会場 飯田市役所C棟3階会議室
(オンライン併用)

9/12(土)【講演】 山梨あやさん(慶應義塾大学)
※講演後に自由論題報告を行います。

9/13(日)【報告】 多和田真理子(國學院大學/歴史研究所顧問研究員)
田中雅孝(歴史研究所調査研究員)
岡田慶さん(元鼎婦人会会長)
清藤奈津子さん(NPO法人山里文化研究所理事長)
矢澤恵さん(飯田市立中央図書館館長)

女性と地域の歴史

今回の地域史研究集会では飯田下伊那の女性の歴史を取り上げます。明治に入ると、農業や家事だけでなく、教員や工場といった新たな場で女性の仕事が広がりました。戦後は飯伊婦人文庫をはじめとする活動に多くの女性が参加し、教育と学習が社会参加のきっかけになっていきます。近現代の大きな変化の中に生きた女性の姿に光を当てます。

※お申込方法等、詳細につきましては次号にてお知らせいたします。

定例研究会

◆開催日 6月27日(土) 「飯田町の観劇文化の深化—飯田歌舞伎座以降の劇場と興行」
時間 14:00～16:00 ◎報告者 竹村雄次(歴史研究所特任研究員)

◆開催日 7月18日(土) 「三遠南信の代官支配と^{くれき}樽木役」
時間 14:00～16:00 ◎報告者 前澤 健(歴史研究所特任研究員)

会場：歴史研究所 研修室

受講生
募集中!!

歴研ゼミ&ワークショップ

6月・7月の予定



近世史ゼミ

「飯田御用覚書」を読む

6月10日・24日 / 7月8日・22日

第2・4水曜日 18:30～20:30
担当：羽田真也(研究員)

建築史ゼミ

大火後の飯田市街の
空間を調べる

6月19日 / 7月17日

第3金曜日 18:30～20:30
担当：岩田会津(研究員)

地域史ゼミ

大正期 LYL 事件の
刑事記録を読む

6月11日 / 7月9日

第2木曜日 13:30～15:30
担当：伊藤 悠(研究員)

思想史ワークショップ

日記から読み解く
個人理解

6月3日・17日 / 7月1日・15日

第1・3水曜日 16:00～18:00
市民の皆さんが自主的に学び合う場

満洲移民研究ゼミ

文書・記憶・個人の
記録から考える

第173回6月6日 / 第174回7月4日

6月のゼミはワークショップ参加とします
第1土曜日 10:00～11:40
担当：本島和人(調査研究員)

近現代史ゼミ

昭和12年
胡桃澤盛日記を読む

6月27日 / 7月25日

第4土曜日 10:00～11:40
担当：田中雅孝(調査研究員)

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL：0265-53-4670
開所時間：午前9時～午後5時 休所日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日
メール配信をご希望の方は、E-mail：ihr@city.iida.nagano.jp まで